

大麦栽培管理情報(第4号)

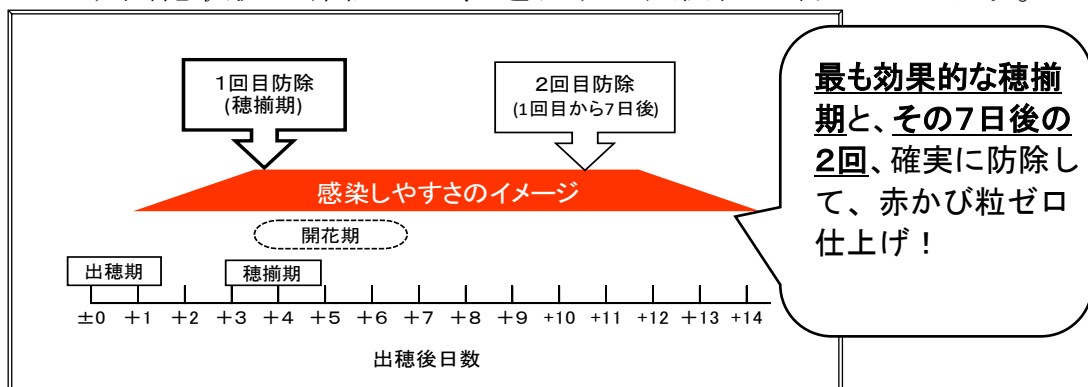
令和3年4月5日
アルプス農協管内農業技術者協議会

本年の大麦の生育の進みは平年より早くなっています。
あなたの大麦圃場の出穂期は○月○日頃と見込まれます。赤かび病の防除を遅れず実施しましょう。

(参考) JAアルプス管内の出穂期は、平均で4月17日頃(平年:4月20日)です。

1. 赤かび病防除

必ず出穂状況を確認して、遅れず2回防除を行いましょう。



赤かび病が発生した穂

図 防除のイメージ

表 防除体系

防除体系	1回目:穂揃期(開花始め)	2回目:1回目の7日後
	4月○日頃	4月○日頃
粉剤	ワークアップ粉剤 DL 3kg /10a (収穫7日前まで)	トップジンM粉剤 DL 4kg/10a (収穫14日前まで) ^{注2)}
液剤 (通常の場合)	ワークアップフロアブル 2,000倍・150ℓ/10a (収穫7日前まで)	トップジンM水和剤 1,000倍・150ℓ/10a (収穫30日前まで) ^{注2)}
液剤 (無人航空機)	ワークアップフロアブル 16倍・0.8ℓ/10a (収穫7日前まで)	トップジンMゾル 8倍・0.8ℓ/10a (収穫21日前まで) ^{注2)}

注2) トップジンM水和剤・トップジンMゾルは、出穂期以降1回しか使えません。

- ・防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。
- ・防除効果を高め、かつ住宅地や周辺作物等への農薬飛散を防止するため、風の弱い時間帯に散布しましょう。

2. 排水対策の徹底

出穂後の登熟条件を良好に保つため、水口や畦畔からの漏水状況を点検するなど、最後まで排水対策を徹底しましょう。